

令和7年度第3回中小企業・小規模企業振興会議 事前質問・意見一覧表

事前に送付した資料（令和7年度 中小企業・小規模企業振興会議意見書（案））に対して、以下のとおり質問・意見が寄せられておりますので、回答と併せて報告いたします。

基本方針（1） 経営基盤の強化の促進を図ること。

1	箇所	4 今後の産業振興策の基本的な考え方について（意見聴取） ○人材確保・人材育成と事業承継	資料1の ページ番号	P 5
	内容 ■意見 □質問	8 「外国人労働者」→ より個人の人権や人間性を尊重する文脈では「外国人労働者」より別の表現が適切ではないか？ *外国からの労働者の受け入れ制度や政策を説明する際には「外国人労働者」を使う彼らも企業では就業に対する重要な「人材」だと思うが、一部「外国人材」の印象として、「人材」が「受け入れ側に都合の良い道具」と捉えられ不適切とを感じる人もいる。 今後は「外国からの人材」等の表現で、「人材」と「外国」を分けて意識させることで、「外国人材」が持つ一部のネガティブな印象を和らげることができるのでは？ 今後は、公な文書で浸透させるべきと考える。是非「八戸市から率先して！」		
	回答	担当：商工労働まちづくり部 商工課 商工振興グループ 本意見書内、ご指摘の箇所の表現をご意見のとおり「外国からの人材」に修正いたします。 なお、市からの発出文書や刊行物の表現を直ちに画一的に統一することは難しいため、関係団体との整合も含め慎重に検討してまいります。		